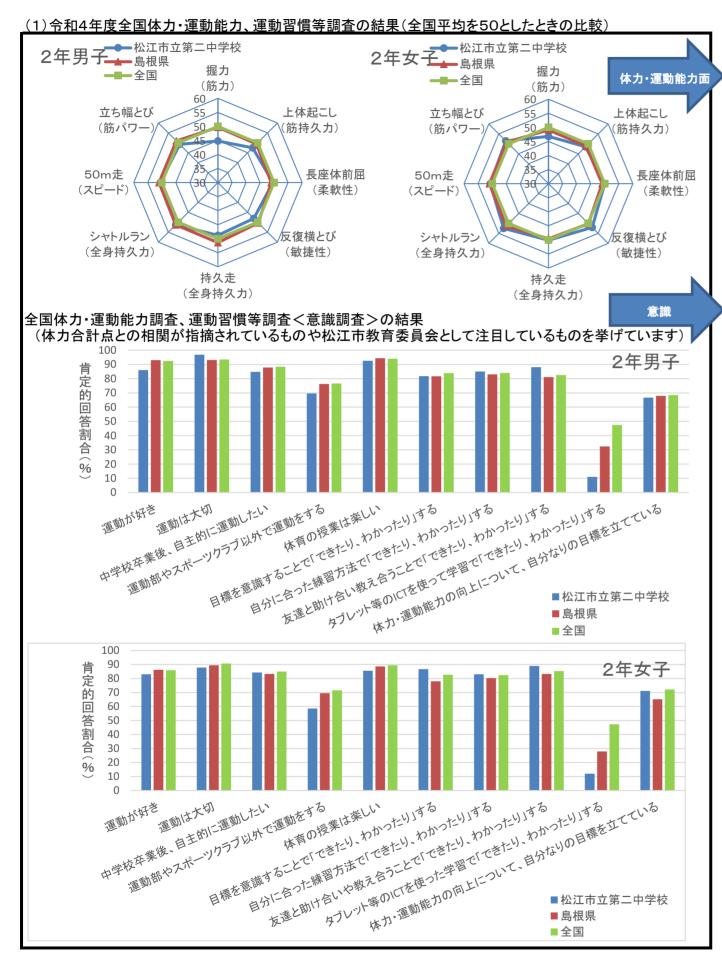
松江市立第二中学校



(2)調査結果の分析

①休力	•運動能力面	全国(偏差値)	との比較
(1/1 4)	Jキ 到 RY. ノ」 IIII	王岜、	MH /T IIP /	

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	持久走 (全身持久力)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	− 5.2	-2.5	-0.4	-1.9	-1.2	1.3	0.5	-0.7	-3.8
女子	-3.2	-1.4	0.0	2.0	0.1	2.5	0.7	1.5	-3.7

②意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中子校卒業後、自主的に 運動したい	運動部やス ポーツクラブ以 外で運動をす る	授業は楽しい	目標を意識す ることでできた りわかったりす る	練習方法でで きたりわかった	友達と助け合 い教え合いで できたりわかっ たりする	
男子	-6.4	3.4	-3.6	-7.0	-1.5	-2.2	1.0	5.6	
女子	-2.8	-2.9	-0.7	-13.0	-3.9	4.0	0.6	3.7	
	ICTを使った学 習でできたりわ								
男子	-36.5	-1.8							
女子	-35.4	-1.1	【-7%以上】 弱み ≪	[-7 ~ -3%]	[-3 ~ 0%]	[0~3%]	[3~7%]	【7%以上】	強。

(3)令和5年度の方針【学校全体での取組】

①体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について

今年度、初任者が赴任して、保健体育科3名で研修にあたっている。初任者は十分に研修を積みながら、順調にレベルアップをしている。 また経験のある3名も互いに授業への研鑽を積んでいる。絶えず、こうすればよいのではないか、こう変更するべきではないかと打ち合わせ をして取り組んでいる。初任者が入ってくれたことで、経験者も改めて刺激をしあいながら授業力向上に努めている。

校内での研修会等に関しては、初任者の研究授業が設定されているため、その時間には保健体育科で研修の場としている。また校外で 研修会があるときには、初任者や比較的若手が参加するようにしている。

基礎体力向上を主として、授業開始直後の準備運動に補強運動(基礎的運動)を加えていこうと提案し、実施していこうと考えている。

②体育科授業の工夫・改善について

指導要領にある必須内容を実践していくために学年別のカリキュラムを実施するためには、本校の施設のとしての運動環境の改善が求められる。3学級、または3学年が一気に授業を行うことが難しいことがあり(一時期は可能)、前年度の流れで進むことが多い。それでも保健体育科で相当な工夫をしながら、少しでも授業改善に取り組んでいる。

今年度の体力調査・運動能力調査結果は、昨年度以上に重く受け止めなければならないと感じている。各学年男女でほとんどの項目で下回ることは残念であった。1年生は入学してすぐの結果であるが、2年生でも1年生時より向上しているが、多くの項目が平均以下であり、3年生に至っては、数値が下がっていることに危機感がある。次年度は持久力の結果向上が期待できる。

令和5年度には、本校が長年カリキュラムとしていた種目を見直し、球技であれば、既存の内容と異なるものに変更していこうと考えている。またICTに関する部分に力を入れて、タブレット端末を活用した授業を展開できるように努めたい。

③体育授業以外の活動の工夫について

保健体育委員会主催、保健体育科後援の球技大会を3学期に実施している。巧緻性や継続した球技の技能向上に寄与している。昼休憩時間には体育館とグラウンドを開放して、生徒会とタイアップしながら、運動ができる器具を増やした。設備開放に合わせた器具の使用が少しでもできるように保健体育科内で協議して進めたい。

④家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について

保健だよりでは、運動や健康に関するテーマで記載してもらった。保健体育科でも独自に体育館等に運動に関する内容を掲示していきたい。本校生徒の弱みを強化していきたいと積極的に各家庭に情報発信していきたい。

令和5年度には、生徒の体力面の現状を家庭に周知するとともに、伸ばす体力要素を明確に示していきたい。